

分科会1

世界とつながるピアスタッフ

- コーディネーター： 宇田川健(日本ピアスタッフ協会役員/認定 NPO 法人コンボ代表理事)
相川章子(日本ピアスタッフ協会顧問/聖学院大学教授/コンボ理事)
- 対談(録画)： ダニエル・フィッシャー(ナショナル・エンパワメント・センター/CEO)
磯田重行(日本ピアスタッフ協会会長/リカバリーセンターくるめ取締役)
- パネラー： 彼谷哲志(特定非営利活動法人あすなる相談支援専門員)
櫻田なつみ(株式会社 MARS)
関口明彦(日本ピアスタッフ協会役員/特定非営利活動法人ミュー理事)
- コメンテーター： 磯田重行(再掲)

【プログラム】

一部:ダニエル・フィッシャー氏と磯田重行氏による対談(録画)

二部:パネルディスカッション:彼谷哲志氏・櫻田なつみ氏・関口明彦氏

コメント:磯田重行氏

質疑応答(チャットより参加者からの質疑にパネラー、コメンテーター回答)

【報告】

日本ピアスタッフ協会がコーディネートする本分科会では、今年度のテーマを「世界とつながるピアスタッフ」とした。まさに今回のテーマである「コロナ・ディスタンス」と表現されるなかにも多様な意味合いを含んでいる一つにオンラインにより物理的距離感を超えてつながることができることを活かした企画とした。

世界の宇田川氏がダニエル・フィッシャー氏にアクセス、交渉し、世紀の対談が実現した。

ダニエル・フィッシャー氏は、ご存じの方も多いと思うが精神疾患からのリカバリーの道を歩む精神科医であり、ナショナル・エンパワメントセンターの代表である。リカバリーに関する多くの文献や言葉を発しており、アメリカを超えて世界の当事者がエンパワメントされる存在として君臨している。日本のピアスタッフの第一人者であり、当協会会長磯田氏との対談では、それぞれがリカバリーストーリーを語りながら、自身の経験に根ざしたリカバリーについてや実践、当事者とのかかわりについて語り合った。

パネルディスカッションでは、対談を受けて日本のピアスタッフの実践へとつないだ。彼谷氏からは「痛みを伴う共感」「ピアサポートとおもてなしの共通点」「小さな革命を続ける」、櫻田氏からは「苦労を背負わない」「お互いがお互いを支えることができるのがピアスタッフの強み」「専門職との協働」、関口氏からは、自身のリカバリーストーリーを語られたのちに、病者集団としての活動や権利条約にからめて情報を知らせることが重要である、などが述べられ、最前線の日本のピアスタッフの言葉を350名ほどの参加者と共有し、考える機会を得た。

